

感 染 症 対 策 課

感染症対策課事務分掌

結核感染症班

- 1 課の庶務に関すること。
- 2 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（平成 10 年法律第 114 号）（以下「感染症法」という。）に基づく患者処置等に関すること（新型コロナウイルス感染症を除く。）。
- 3 狂犬病予防法（昭和 25 年法律第 247 号）第 8 条第 1 項の規定による届出に関すること。
- 4 後天性免疫不全症候群及び性感染症の予防に関すること。
- 5 結核・感染症発生動向調査事業に関すること。
- 6 肝炎ウイルス検査及び相談に関すること（健康増進法（平成 14 年法律第 103 号）に基づくものを除く。）。
- 7 感染症診査協議会に関すること。

予防接種班

- 1 予防接種事業に関すること（新型コロナウイルス感染症に係る予防接種に関するものを除く。）。

新型コロナウイルス対策室

- 1 新型コロナウイルス感染症対策に関すること。

1 予防接種事業

定期接種として四種混合、二種混合、麻しん風しん、日本脳炎、ヒトパピローマウイルス、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎、ロタウイルス、高齢者インフルエンザ、高齢者肺炎球菌の予防接種を市内協力医療機関で実施し、BCGは各区保健福祉センターで集団接種を実施した。その他市単独事業として、高齢者肺炎球菌予防接種、風しん抗体検査、麻しん風しん混合ワクチン任意予防接種助成を実施した。

(1) 定期接種

種類		実施 方法	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)	会場数 (市内医療機関数)	
ジフテリア百日せき破傷風不活化ポリオ混合 (DPT－IPV) (四種混合)		個 別	23,354	24,555	105.1	103	
ジフテリア破傷風混合 (DT) (二種混合)			7,902	5,929	75.0	119	
麻しん風しん混合 (MR)	1 期		6,128	5,897	96.2	113	
	2 期		7,153	6,797	95.0	121	
日本脳炎	1 期		19,989	25,076	125.4	122	
	2 期		7,658	7,721	100.8		
	特例		－	130	－		
BCG		集 団	5,742	5,697	99.2	150	
HPV (ヒトパピローマウ イルス)	1 回目	個 別	3,950	3,436	87.0	158	
	2 回目		3,950	2,235	56.6		
	3 回目		3,950	1,400	35.4		
ヒブ			22,968	22,888	99.7	101	
小児用肺炎球菌			22,968	22,881	99.6	102	
水痘			12,359	11,727	94.9	108	
B型肝炎			17,226	17,008	98.7	104	
ロタウイルス	ロタリックス(1価)		8,039	7,778	96.8	100	
	ロタテック(5価)		5,168	5,021	97.2		
高齢者インフルエンザ				257,325	132,550	51.5	356
高齢者肺炎球菌				－	7,182	－	304

(注) 対象者数は令和5年9月末人口からの推計。日本脳炎の「特例」は予防接種実施規則附則第2条及び第3条の対象者。HPVは標準的な接種年齢である13歳の女子の総人口を分母とし、接種年齢期間である11～16歳の接種回数を分子として算出。

(2) 定期外接種(市単独事業)

種類	実施方法	対象者数 (人)	被接種者数 (人)	接種率 (%)	会場数 (市内医療機関数)
高齢者肺炎球菌	個別	-	892	-	304
風しん抗体検査		-	1,642	-	264
麻しん風しん混合任意予防接種助成		-	2,036	-	261

2 結核予防事業

(1) 健康診断

結核発病の早期発見を目的として定期健康診断の勧奨を実施し、結果の報告を受理した。定期健康診断結果報告は、法律に基づき事業者、施設長及び学校長を対象とした。

また、同様に結核感染の早期発見を目的として、結核患者と接触のあった者を調査し接触者健康診断を実施した。

ア 健康診断実施状況

(単位：人)

区分 対象施設		対 象 者 (A)	受 診 者 (B)	受 診 率 (B/A) (%)	ツ 反 応 検 査		B C G 接 種 者 数	間 接 撮 影 者 数	直 接 撮 影 者 数	I G R A 実 施 者 数	被発見者数			
					被 判 定 者 数	陰 性 者 数					発 見 患 者 数 (C)	発 見 率 (C/B) (%)	結 核 発 病 の 恐 れ が あ る と 診 断 さ れ た も の	
定 期 健 診	事 業 者	51,163	47,625	93.1	-	-	-	9,659	37,872	-	-	-	1	
	学 校 長	21,226	20,702	97.5	-	-	-	8,516	12,186	-	-	-	-	
	内 訳	高 校	7,692	7,655	99.5	-	-	-	4,613	3,042	-	-	-	-
		大学(短大)	7,327	6,933	94.6	-	-	-	281	6,652	-	-	-	-
		そ の 他	6,207	6,114	98.5	-	-	-	3,622	2,492	-	-	-	-
	施 設 長	5,939	5,405	91.0	-	-	-	1,885	3,520	-	-	-	-	
接 触 者 健 診		1,187	1,173	98.8	1	1	-	-	273	978	5	0.4	-	
合 計		79,515	74,905	94.2	1	1	-	20,060	53,851	978	5	0.0	-	

イ 家族健診実施状況

(単位：人)

区分 年度		受 診 者 数					検 査 結 果				
		対象者数 (A)	保健所実施分	委託医療機関	その他	計 (B)	受診率 (B/A) (%)	要医療者 (C)	(C/B) (%)	予防内服者 (D)	経過観察者 (D/B) (%)
3		265	-	230	-	230	86.8	2	0.9	5	2.2
4		203	-	170	-	170	83.7	-	-	8	4.7
5		129	-	108	-	108	83.7	3	2.8	5	4.6

(2) 患者管理

結核患者の病状、受療状況を的確に把握し、早期に社会復帰できるよう指導管理するとともに周囲への感染防止に努めた。また、結核患者登録票をもとに、必要な者に対し管理検診を実施した。

ア 登録患者数（活動性分類別・年度末現在）

（単位：人）

区分 年度	総 数	活 動 性 結 核								不活動性結核	活動性不 明	潜在性結核感染症
		総 数	肺 結 核 活 動 性						肺 外 結 核 活動性			
			登録時喀痰塗抹陽性			登録時その他の結核菌陽性	登録時菌陰性その他					
			総 数	初回治療	再治療							
3	179	23	17	4	4	-	6	7	6	111	45	45
4	165	35	25	9	6	3	10	6	10	96	34	39
5	168	32	25	10	10	-	10	5	7	102	34	52

イ 新規登録患者数（活動性分類別）

（単位：人）

区分 年度	活 動 性 結 核							潜在性結核感染症	
	総 数	肺 結 核 活 動 性					肺外結核活動性		
		総 数	喀 痰 塗 抹 陽 性			その他の結核菌陽性			菌陰性・その他
			総 数	初 治 回 療	再治療				
3	84	61	34	31	3	15	12	23	43
4	88	63	29	26	3	26	8	25	45
5	81	63	35	34	1	20	8	18	41

ウ 管理検診実施状況

（単位：人）

区分 年度	対象者数 (A)	受 診 者 数					検 診 結 果		
		保健所 実施分	委託医療機 関実施分	その他	計 (B)	受 診 率 (B/A) (%)	要医療 者数 (C)	(C/B) (%)	発病のおそれのある者
3	346	-	304	7	311	89.9	1	0.3	124
4	303	-	240	37	277	91.4	1	0.4	126
5	287	-	224	9	233	81.2	1	0.4	94

(3) 結核医療

結核は、長期の療養と多額の医療費を必要とするため、法による公費負担制度が設けられている。
感染症法第19条・第20条（入院勧告又は入院の措置）適用者（第37条）と一般患者（第37条の2）に対するものがある。これらの申請を受け、申請内容について千葉市感染症診査協議会にて専門委員の承認を受けている。

ア 感染症法第37条の2の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担の状況

(単位:件)

	被用者保険	国民健康保険			後期高齢	生活保護	その他	合計
		一般	退職者本人	退職者家族				
申請	48	48	-	1	58	17	3	175
承認	47	48	-	1	58	17	3	174

イ 感染症法第37条の規定に基づく結核患者の自己負担額の状況

(単位:件)

自己負担区分	被用者保険	国民健康保険			後期高齢	生活保護	その他	合計
		一般	退職者本人	退職者家族				
なし	5	7	-	-	15	11	-	38
2万円	1	-	-	-	-	-	-	1
計	6	7	-	-	15	11	-	39

ウ 感染症法第19条・第20条（入院勧告又は入院の措置）適用者の年齢階級別の状況

(単位:人)

患者数	患者の年齢階級区分									
	0～9	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
39	-	-	2	3	-	3	8	9	11	3

(4) 結核菌検査（遺伝子検査 VNTR 検査）

検査数 15 検体

(5) 集団発生（結核）

発生事例 なし

3 感染症予防事業

医師からの発生届を受理し、患者調査ならびに接触者の健康診断、感染拡大防止を必要に応じて実施した。
市政だより及び市ホームページにより、市民に海外旅行時の感染症予防等について啓発をした。

(1) 1類感染症発生状況（7疾患）

（単位：人）

年 度		3	4	5
疾患名				
総 数		-	-	-
1	エボラ出血熱	-	-	-
2	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-
3	痘そう（天然痘）	-	-	-
4	南米出血熱	-	-	-
5	ペスト	-	-	-
6	マールブルグ出血熱	-	-	-
7	ラッサ熱	-	-	-

(2) 2類感染症発生状況（7疾患）

（単位：人）

年 度		3	4	5
疾患名				
総 数		134	130	130
1	急性灰白髄炎	-	-	-
2	結核	134	130	130
3	ジフテリア	-	-	-
4	重症急性呼吸器症候群	-	-	-
5	中東呼吸器症候群	-	-	-
6	鳥インフルエンザ（H5N1）	-	-	-
7	鳥インフルエンザ（H7N9）	-	-	-

(3) 3類感染症発生状況（5疾患）

（単位：人）

年 度		3	4	5
疾患名				
総 数		22	28	38
1	コレラ	-	-	-
2	細菌性赤痢	-	-	-
3	腸管出血性大腸菌感染症	22	28	38
4	腸チフス	-	-	-
5	パラチフス	-	-	-

(4) 4類感染症発生状況 (44 疾患)

(単位：人)

年 度		3	4	5
疾患名				
総 数		25	25	32
1	E型肝炎	10	9	14
2	ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎含む)	－	－	－
3	A型肝炎	1	－	－
4	エキノкокクス症	－	－	－
5	黄熱	－	－	－
6	オウム病	－	－	－
7	オムスク出血熱	－	－	－
8	回帰熱	－	－	－
9	キャサヌル森林病	－	－	－
10	Q熱	－	－	－
11	狂犬病	－	－	－
12	コクシジオイデス症	－	－	4
13	エムボックス ※	－	1	2
14	ジカウイルス感染症	－	－	－
15	重症熱性血小板減少症候群（病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。）	－	－	－
16	腎症候性出血熱	－	－	－
17	西部ウマ脳炎	－	－	－
18	ダニ媒介脳炎	－	－	－
19	炭疽	－	－	－
20	チクングニア熱	－	－	－
21	つつが虫病	－	1	2
22	デング熱	－	1	－
23	東部ウマ脳炎	－	－	－
24	鳥インフルエンザ (鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9) を除く。)	－	－	－
25	ニパウイルス感染症	－	－	－
26	日本紅斑熱	1	－	－
27	日本脳炎	－	－	－
28	ハンタウイルス肺症候群	－	－	－
29	Bウイルス病	－	－	－
30	鼻疽	－	－	－
31	ブルセラ症	－	－	－
32	ベネズエラウマ脳炎	－	－	－
33	ヘンドラウイルス感染症	－	－	－
34	発しんチフス	－	－	－
35	ボツリヌス症	－	－	－
36	マラリア	－	－	－
37	野兎病	－	－	－
38	ライム病	－	2	－
39	リッサウイルス感染症	－	－	－
40	リフトバレー熱	－	－	－
41	類鼻疽	－	－	－
42	レジオネラ症	13	11	10
43	レプトスピラ症	－	－	－
44	ロッキー山紅斑熱	－	－	－

※令和5年5月25日までは、サル痘

(5) 5類感染症発生状況（全数把握 24 疾患）

(単位：人)

年 度		3	4	5
疾患名				
総 数		88	132	158
1	アメーバ赤痢	1	7	3
2	ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）	3	－	6
3	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 ※	15	22	20
4	急性弛緩性麻痺	－	－	－
5	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）	11	9	21
6	クリプトスポリジウム症	－	－	－
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	－	4
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	7	10
9	後天性免疫不全症候群	1	3	2
10	ジアルジア症	－	1	1
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	－	4	4
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	－	1	－
13	侵襲性肺炎球菌感染症	9	9	10
14	水痘（入院例に限る。）	1	2	1
15	先天性風しん症候群	－	－	－
16	梅毒	41	64	72
17	播種性クリプトコッカス症	－	1	2
18	破傷風	－	1	－
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	－	－	－
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	－	1	－
21	百日咳	1	－	1
22	風しん	1	－	－
23	麻しん	－	－	1
24	薬剤耐性アシネトバクター	－	－	－

※令和5年5月25日までは、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症

(6) 調査件数

発生の状況に応じた現地調査・患者調査や聞き取り調査を実施した。

(単位：件)

種類 \ 年度	3	4	5
1類感染症	－	－	－
2類感染症	312	244	238
3類感染症	24	28	38
4類感染症	33	26	27
5類感染症・その他	1	1	1
合 計	370	299	304

(7) 行政検査実施状況（検査委託先：千葉市環境保健研究所、国立感染症研究所等）

行政として必要と判断した検査や、民間衛生検査所で検査できないウイルス・細菌等について、医療機関または対象者からの検体を受理し、検査機関に検査依頼した。

(単位：件)

種類	年度	3	4	5
	検査種別			
ウイルス	麻しん・風しん	23	33	94
	感染性胃腸炎	103	191	115
	A型肝炎	－	－	－
	E型肝炎	1	－	－
	その他	44	46	110
細菌	3類感染症	105	94	111
	その他	68	49	52
検体数合計		344	413	482

4 エイズ予防事業

エイズ（後天性免疫不全症候群）対策として、H I V感染者・エイズ患者を早期に発見し、適切な医療につなげるため、匿名・無料で抗体検査を実施し、希望者には専門のカウンセラーによる相談を実施した。併せて性感染症対策としてクラミジア・梅毒の抗体検査も実施した。

また、エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及啓発を図るため市内中学校などを対象に、専門のカウンセラーによる「性感染症に関する講演会」を開催した。

(1) H I V及びクラミジア・梅毒抗体検査実施状況

(単位：件)

年度	性別	H I V抗体検査			クラミジア抗体検査			梅毒抗体検査		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
3		-	-	-	-	-	-	-	-	-
4		32	13	45	31	13	44	31	13	44
5		322	120	442	238	102	340	238	102	340

(注) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度は中止。

令和4年度は4回実施。令和5年度は26回実施。

令和4年度までは保健所内にて、令和5年度からは委託医療機関にて検査実施。

(2) エイズ相談実施状況

(単位：件)

年度	相談方法	男	女	小計	計
3	電話相談	23	4	27	28
	来所相談	1	—	1	
	その他	—	—	—	
4	電話相談	25	2	27	73
	来所相談	31	15	46	
	その他	—	—	—	
5	電話相談	17	7	24	115
	来所相談	—	—	—	
	委託医療機関	71	20	91	

(3) エイズ研修会及び講演会実施状況

(単位：回, 人)

年度	講演会数	受講者数
3	2	146
4	5	400
5	3	297

(注) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度はオンラインで実施。

(4) 休日検査

(単位：人)

年度	実施日	会場	受検者数
3	—	—	—
4	—	—	—
5	6月3日(土)	委託医療機関	11
	9月2日(土)	委託医療機関	5
	12月2日(土)	委託医療機関	9
	2月3日(土)	委託医療機関	6

(注) 例年、土曜日に年4回実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度・令和4年度は中止。令和4年度までは保健所内にて、令和5年度からは委託医療機関にて検査実施。

5 新型コロナウイルス感染症対策事業

医師からの発生届（HER-SYS への入力、または FAX による。）を受理し、患者調査を行うとともに、必要に応じて受診または入院の調整を実施した。自宅療養の患者に対しては健康観察を行った。これらの業務は、新型コロナウイルス感染症の感染症法における位置付けが2類相当から5類に変更されたことに伴い、令和5年5月7日で終了した。また、電話による相談窓口業務も令和6年3月31日で終了した。

(1) 新型コロナウイルス感染症発生状況

本市における初発患者は令和2年1月31日に確定診断されており、以降、数度に及ぶ感染拡大を経て年々患者が増加した。

(単位：人)

疾患名 \ 年度	3	4	5
新型コロナウイルス感染症	55,931	183,276	2,496

(注) 医療機関から提出された発生届の件数。なお、発生届の全数報告の見直しにより、令和4年9月26日以降は市内の医療機関及び千葉県陽性者登録センターから報告のあった患者総数を集計したもの。

(2) 行政検査実施状況（検査依頼先：千葉市環境保健研究所）

新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図るため、医療機関や施設等からの検体を受理し、市環境保健研究所に検査依頼した。民間検査の増加に伴い検査件数は減少し、令和5年1月末で受付を終了した。

（単位：件）

検査種別 \ 年度	3	4	5
P C R 検査	22,677	8,081	－
（うち陽性数）	4,134	3,426	－

(3) 新型コロナウイルス感染症相談実施状況

令和2年2月から電話による相談窓口を設置し、発熱等の体調不良を認めた市民などに、医療機関の紹介や、助言を行った。（令和6年3月31日18：30で終了）

（単位：件）

区分 \ 年度	3	4	5
昼間受電数（9:00～19:00）	88,960	125,477	14,154
夜間受電数（19:00～9:00）	5,168	5,925	129

（注）夜間の相談は令和2年4月27日から開始し、令和5年5月8日9：00で終了した。

昼間の相談は令和5年10月1日から受付時間を9：30～18：30に変更した。

(4) 就業制限・入院勧告通知及び療養期間証明書発行状況

（単位：件）

区分 \ 年度	3	4	5
就業制限通知	16,664	－	－
入院勧告通知	2,217	4,355	73
療養期間証明書	2,515	37,686	751

（注）就業制限通知は令和4年1月21日までに医療機関から報告を受けた患者全員に発行していた。運用の見直しにより、以降は希望者に対して療養期間証明書を発行している。

入院勧告通知は令和5年5月7日までの入院が対象。